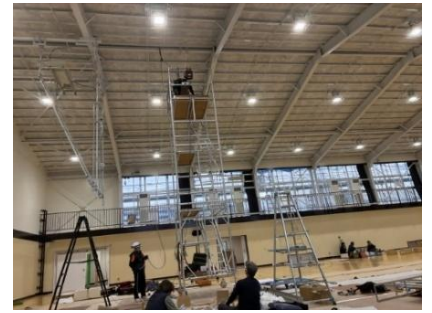


工程

本校の体育館は、リニューアルのため、現在は足場に囲まれています。校庭 からみると何かの基地のようにも見えます。東京は 29 日連続雨とのことで、外壁や屋根、渡り廊下の工事が遅れています。内部は順調の



ようで床を削り、壁は張り替え、塗装は完了。照明も水銀灯からLEDへと着々と工事が進み足場は残すところ、昇降式のバスケットゴール取り付け用に組まれたものだけでした。私は 2 週間に一度、



施工会社さんと打ち合わせをしてきました。その度に工事中の体育館を覗き、造り上げられていく工程 を目撃することができました。

さて造り上げると言えば、今、合唱コンクールに向けて各クラスが練習を重ね思い思いの合唱を創り上げています。楽譜や歌詞カードを見ながら歌練習に臨んでいた姿が少しずつ消えていっています。練習方法は、固定 されていません。パート練習を徹底するクラス、強弱や 高低 を意識するクラス、歌詞の意味を考え歌いこむクラス・・・と様々です。



3階廊下を歩くと、そこで指揮を振る生徒が。1年 C 組です。ちょっと待ってください。指揮者の背後に C 組に向かって歌声を発する集団が居るではありませんか。1年 B 組です。“清中歌合戦 in 廊下”に出くわしました。取材をすると、戦いを申しこんだわけではなく、示し合わせたわけでもなく C 組の歌声に勝れと B 組が歌声をかぶせてきたのです。互いの歌声に勢いが増してきました。ライバルの存在は、互いを鍛えます。



3年生の課題曲は『大地讃頌』 連休前までの歌声にはパンチがなく・・・。中盤の見せ場、

女声 人の子ら 人の子ら その立つ土に感謝せよーーーー

男声 人の子ら 人の子ら 人の子ら 土に感謝せよーーーー

低音の響きを味わいたいところ。ぼそぼそ歌っているの、「感謝せよー」なのか、聞き方によっては“アンニョンハセヨ!”と聞こえてくるような。日本語訳「人の子ら 土にこんにちはー」では・・・???。しかし、木曜日のリハーサルでは、歌声に張りが出てきたので、本番に期待をもてそうです。

元松下政経塾の副塾長 上甲 晃さんのブログ“あなたはどのようなときに感謝しますか”に、

「感謝は、全ての条件が整ったからするものではない。縁があって受け入れてもらった会社、それだけでも、ありがたいなと感謝すると、その人を見る周りの人の目が変わる。(中略)自分の求める大学に入ったから、自分の求める会社に入ったから感謝するのではない。縁があって入った大学、縁があって入った会社に感謝する。そうすれば運が開ける。」

と綴っています。

かつて私が担任したクラスでは、やる気のある女子がやる気のない男子を責め立て、ののしりあうような時がありました。実行委員が中心となって、お互いの気持ちをぶつけ合う機会を作りました。すると一部のやる気のないと思われていた男子が、「歌うことに自信がない。」と心中を打ち明けます。そこで初めて歌を得意とする女子が男子の気持ちを知り、つきっきりで男子に稽古をつけたのです。

歌に自信がある子もない子も様々な生徒がクラスには居る。その人が居なければクラスは成り立たず合唱はできない。だからこのクラスにあなたが居てくれることを感謝しなければなりません。

“アンニョンハセヨ”は韓国語の丁寧なあいさつ「こんにちは」に当たる表現です。挨拶とは目の前のあなたに届けるの言葉ですから、あなたの存在を 肯定 すること。

「感謝せよーーーー」は、「アンニョンハセヨーーーー」から始まっているような気がしてきました。